

< 悪魔と天使の法学入門第27話 > 定額給付金と景気対策

著者	星野 豊
雑誌名	月刊高校教育
巻	42
号	7
ページ	112-113
発行年	2009-06
URL	http://hdl.handle.net/2241/105913

【悪魔】 去年からいろいろ話題になっていた定額給付金がやっと支給されますね。お金がもらえるのは単純にうれしいですけど、なぜこんなことを始めたんですか？ 給付金は要するに税金から支払われるわけで、一回取りあげたものをもう一回返すというのは、どこか無駄な気がするんですけど？

【天使】

昨今の経済情勢は、未曾有の不景気

に覆われており、消費が著しく落ち込んでいるために企業の収益も上がらず、それがさらなる雇用調整や人件費の圧縮を招く、という悪循環に陥っている。それを打破するためには、政府が先頭に立って景気対策を行う必要があり、定額給付金制度はその一環として位置づけられるものだ。今回の給付金については、納税者のみならず、住民登録をしているすべての市民に対して配分されることから、単に税金を循環させているわけではなく、むしろ生活者としての市民全員が若干でも生活にゆとりを感じることによって、全体としての消費も実質的に上向くとの見通しに基づいて、実施されているのが一つの特徴なのだ。

悪魔と天使の法学入門

筑波大学准教授 星野 豊

第27話

定額給付金と景気対策

【悪魔】

はあ、そうなんですか。私はてっきり、衆議院議員の選挙が近づいてきて、このままだとボロ負けしそうな与党がみんなの歡心を買うためにお金をバラ撒いてるのかと思ってました。1票1万2千円だったらまあまあのお値段ですからね。小さな子どもがいれば1人当たり2万円に増えて、それも事実上親の物になるんでしょから、本当に笑いが止まりません。ただ、今の不景気は、みんなの財布の紐が固いから起こっているわけではなくて、本当にお金に余裕がないから起きているものなんでしょう？ そんなところに1人1万2千円渡したとしても、本当に景気は上向くんでしょうか？ 借金を返すとか貯金するとかしてしまったら、何にもならないような気がしますよ。

【天使】

個々人に配分された定額給付金がどのように消費されるかについては、様々な予測が可能であるが、結局は個々人の自由意思に任せざるを得ないから、仮に全額が消費に回らなかったとしても、定額給付金政策自体が失敗だということとはできない。むしろ、定額給付金を

はじめとして、高速道路の休日割引制度や、就学前の子どもに対する育児手当金、ハイブリッド車購入のための資金援助等、あらゆる方向からの極めて大規模の経済対策を一気に行ったという実感それ自体が、景気の実質的な上昇要因となることが期待できるとも言えるだろう。

【悪魔】 そんなあやふやな見通しで場当たりとしか言いようがない経済対策ばかりするから、今みたいなどん底の状態になっているんじゃないやありませんかね。大体、今回の景気対策とやらは、掛け声だけは勇ましいですけど、よくよく見ればどれも中途半端ですよ。高速道路の割引は休日だけですから、通勤などで高速道路をよく使う人は全く恩恵を受けませんし、子ども手当だって今年1回限りでしょう？ ハイブリッド車の購入資金援助だって、既に関わった人はどうなるんですか？ まして定額給付金なんて、本当に中途半端の最たるもんです。本当にお金を使う人に対してはあまり渡さないで置いて、なぜ無理矢理全員に配ったという形にしたいのか、私にはさっぱりわかりませんが。



【天使】 無理矢理全員に、ということではなく、これは給付金の支給事務を担当する地方自治体の負担を考えてのことだ。個人の経済状況を把握するのは意外に難しく、個人情報保護が求められる現在の状況では、行政機関自身が持っている情報であってもみだりに他の目的に流用することはできないから、収入等の制限を設けたりすることによる事務処理負担は無視できないものとなってしまふ。部外者からは不備ばかりが目立つかもしれないが、様々な事情が複雑に絡んだ結果、現状の制度設計に到っていることを、もっと理解するべきだろう。

【悪魔】 お金がもらえるんだから細かいことに文句をつけるなっただけですか？ どんな事情があつたって、たかが同じ額のお金を配ることだけで、なんであんなに政府から自治体から大騒ぎしているのかよくわからないと言ってるんですよ。今の不景気の中でみんなが政府に求めているのは、安心して確実な方へ向かうよう導いてくれることだと思いますけど、今みたいな「景気対策」とやらを見ていると、ますます先行きに不安が募るんですよねえ。